街角の数学 Street Wasan ＋ NPO 法人 亀谷まちづくり処露伴塾

～露伴の挑戦状～

第 6 回「遺題継承」（2022 年 11 月出題）

今回は、吉田光由著『新編塵劫記』（寛永 18 年、1641 年）に記された「遺題」の中から、第 1 問の図形問題を取り上げます。

【問題】

直角三角形の各辺を長い順に東、乾、坤とします。

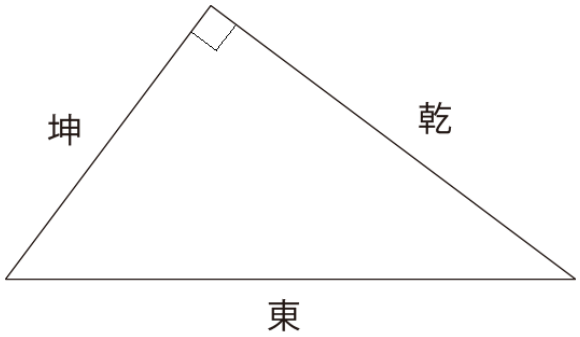
東と乾の和が 81 間

東と坤の和が 72 間

であるとき、直角三角形の

面積および各辺の長さ

を求めてください。



※　遺題とは解答を付さない問題のことです。この『新編塵劫記』がきっかけとなって、

「遺題を解く→新しい遺題を提示する」

という慣習が和算家の間で流行しました。これを「遺題継承」と呼びます。

※　二本松藩に仕えた磯村吉徳も自身の書『（増補）算法闕疑抄』に光由の遺題の解を記し、自身の遺題 100 問を載せています。